

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	235	3年	前期	看護学科	必修	地域看護方法論 Community Health Nursing Methods	45	2
担当教員								
奥田 美恵	田中 美延里	入野 了士		瀬戸 裕一		河野 瑠奈		
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
地域看護の方法である個別支援と集団支援、コミュニティ支援に焦点を当て、対象特性に応じた支援の基盤となる、法制度と看護活動の方法について実践例を示しながら教授する。 実習地の地域特性を把握するために既存資料を活用する演習を実施する。								
到達目標（授業目標）								
1 地域看護活動で用いる個別支援・集団支援・コミュニティ支援の方法が理解できる。 2 対象の特性に応じた看護活動の方法を理解できる。 3 地域看護活動における個別支援（家庭訪問）の事例展開ができる。 4 地域特性を把握するために既存資料を活用できる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	地域看護の方法：個別支援と集団支援、コミュニティ支援（奥田美恵）							
2回	個別支援の方法（1）：健康相談（奥田美恵）							
3回	個別支援の方法（2）：家庭訪問（奥田美恵）							
4回	対象特性に応じた地域看護活動（1）：健康診査・成人保健活動①（奥田美恵）							

5回	対象特性に応じた地域看護活動(1):健康診査、成人保健活動②(奥田美恵)					
6回	対象特性に応じた地域看護活動(2):精神保健福祉活動①(奥田美恵)					
7回	対象特性に応じた地域看護活動(2):精神保健福祉活動②(奥田美恵)					
8回	対象特性に応じた地域看護活動(3):高齢者保健活動(田中美延里)					
9回	対象特性に応じた地域看護活動(4):難病保健活動①(田中美延里)					
10回	対象特性に応じた地域看護活動(4):難病保健活動②(田中美延里)					
11回	対象特性に応じた地域看護活動(5):母子保健活動①(奥田美恵)					
12回	対象特性に応じた地域看護活動(5):母子保健活動②(奥田美恵)					
13回	対象特性に応じた地域看護活動(6):感染症保健活動①(奥田美恵)					
14回	対象特性に応じた地域看護活動(6):感染症保健活動②(奥田美恵)					
15回	地域看護活動の展開(1):個別支援からコミュニティ支援への発展(奥田美恵)					
16回	地域看護活動の展開(2):関係機関と連携した地域看護活動(教育協力者)					
17回	家庭訪問の計画(演習):訪問準備・事例の情報整理・アセスメント①(奥田美恵)					
18回	家庭訪問の計画(演習):訪問準備・事例の情報整理・アセスメント②(奥田美恵・河野瑠奈)					
19回	医療費分析による地域の実態把握:医療費から捉えた愛媛の実態(教育協力者)					
20回	地域特性の把握のための既存資料活用(演習)A 実習地の人口動態分析、公開データを用いた健康づくりの評価 B Community as Partner Modelを活用した実習地のデータ整理(担当者全員)					
21回	地域特性の把握のための既存資料活用(演習)A 実習地の人口動態分析、公開データを用いた健康づくりの評価 B Community as Partner Modelを活用した実習地のデータ整理(担当者全員)					
22回	地域特性の把握のための既存資料活用(演習)A 実習地の人口動態分析、公開データを用いた健康づくりの評価 B Community as Partner Modelを活用した実習地のデータ整理(担当者全員)					
23回	地域特性の把握のための既存資料活用(演習)A 実習地の人口動態分析、公開データを用いた健康づくりの評価 B Community as Partner Modelを活用した実習地のデータ整理(担当者全員)					
24回						
25回						
26回						
27回						
28回						
29回						
30回						
成績評価方法及び基準						
筆記試験(45%)、レポート(40%)、グループ学習への参加態度(15%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。						
教科書	荒賀直子・後閑容子「公衆衛生看護学.jp第5版」(インターメディカル) 厚生労働統計協会「図説国民衛生の動向2022/2023」(厚生労働統計協会)					
参考図書等	随時提示する。					
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)						
第20回~23回の演習で図表作成を行うため、Excel操作に慣れておくこと。						
関連科目						
前科目	231 地域看護学概論	233 健康教育論	232 家族看護論	234 地域アセスメント		
後科目	236 地域看護学実習	公衆衛生看護学各科				
実務家教員						
保健師(行政機関)	奥田 美恵	田中 美延里	入野 了士	瀬戸 裕一	河野 瑠奈	
備考						